



種名 : ボラ *Mugil cephalus cephalus*

分類 : 在来種 汽水・海水魚

○大きさ

- ・成魚：35～60cm

○生息箇所（すみか）

- ・利根川下流部の河口から沿岸の広い範囲に生息しています。
- ・砂泥底(さでい)の内湾や河口域を好みます。

○生態（どんな生活をしているか）

- ・付着藻類(石に生えるも)や砂泥(さでい)を食べます。
- ・繁殖期は秋から冬(10～1月)におこなわれます。産卵は外海(そとうみ)で海流に乗せて卵をばらまきます。

○釣りや漁業

- ・フカセ釣りやルアーで釣ることができます。餌はイソメやゴカイです。
- ・ボラは千葉県と茨城県で漁業対象となっています。河口から海域では船を使ったまき網漁、霞ヶ浦では船曳網(ふなびきあみ)があります。

○地域利用

- ・ボラは出世魚です。
関東→オボコ→イナッコ→スバシリ→イナ→ボラ→トド
関西→ハク→オボコ→スバシリ→イナ→ボラ→トド
- ・成長の各段階で名前がついているということは、それぞれの時期にボラが利用されているということです。例えば、イナッコ(オボコ)はおなかにお味噌を詰めて焼いた郷土料理があったり、スバシリ～ボラは刺し身や洗い、ボラやトドのカラスミ等、上げたらきりがありません
- ・マハゼと同様にボラも最も庶民的な種なのかもしれません。